

平成 27 年 11 月 18 日

Vet4U 日本獣医生命科学大学 平成 27 年度  
オープンスキルラボ アンケート結果

開催日時 平成 27 年 10 月 10 日 (土) 9:00-18:00  
平成 27 年 10 月 17 日 (土) 9:00-18:00

開催場所 日本獣医生命科学大学 C 棟 5 階 503 講義室と動物医療センター

参加人数 13 名

東京大学 2 名 (6 年生 1 名、5 年生 1 名)  
日本大学 5 名 (5 年生 4 名、4 年生 1 名)  
日本獣医生命科学大学 4 名 (6 年生 2 名、3 年生 2 名)  
東京農工大学 2 名 (1 年生 2 名)

内容 日本獣医生命科学大学で行われている医療面接実習の基礎編 (家族から話を聞いて情報を収集する) を 1 日目の 10 日に行い、2 日目の 17 日には診断が付いた後、病気に関して説明をするアドバンス編を行った。

アンケート結果 (アンケート回収枚数 10 名分)

1. 参加動機

- 小動物臨床に入るにあたり、大事なラボだと思った
- 大学では勉強できないが、必要なスキルと思った。
- 臨床獣医師にならなくても必要なスキルと思ったから
- 友人に誘われた、大学の先生に誘われた
- OSCE のトライアルに参加して医療面接に自信がなかったので、もっと勉強したくて参加した
- 獣医師としてコミュニケーションを学ぶため
- 色々なことを経験してみたかったから
- モチベーションをあげるため
- 実践的な勉強がしたかった
- 将来小動物臨床に行くことに興味があるため

2. 実習に興味を持てたか？

- 興味を持てた 9

- どちらかといえば興味を持てた 1
- どちらかといえば興味を持てなかった 0
- 興味を持てなかった 0

3. 目的と意義を理解できたか？

- おおよそ（90-100%）理解できた 9
- 半分以上は理解できた 1
- 半分も理解できなかった
- ほとんど理解できなかった

4. 分量

- 多い 0
- どちらかという和多い 0
- ちょうどよい 9
- どちらかといえば少ない 1
- 少ない 0

5. 進め方

- 速い 0
- どちらかといえば速い 2
- ちょうどよい 8
- どちらかといえば遅い 0
- 遅い 0

6. 難易度

- 難しい 4
- どちらかといえば難しい 2
- ちょうどよい 4
- どちらかといえばやさしい 0
- やさしい 0

難しい、と思った理由：

- 専門知識がなかったため、病気や検査方法の説明が難しかった。しかし、事前に教員が少し説明してくれたので、安心して実習に望めた
- まだ自分自身が1年生だったため、症例の説明が難しかった
- 共感や説明のバランス、落ち着く事、笑顔

7. 評価できる内容

- 色々な人の経験を聞くことができた
- 自分では気が付かないところを気が付かせてもらいました。これから改善していくきっかけになりました
- 教員がみんなで打ち解ける雰囲気を作ってくれたので楽しかった
- 体系的でサポートも充実していた
- クライアントの経験談を聞けるのが非常に貴重
- 自分たちが行ったことに対してクライアントがどう思っているのかを知れるのは大いに評価できる

8. 改善できる項目

- 2日目は時間が足りなかったこともあるが。講義中の練習は1-2名でよい
- 全員が面接の前に1回練習できるとよい
- 面接の進め方が早かった

9. オープンスキルラボとして連携大学として開講したことをどう思うか？

- 大いに評価する 10
- ある程度評価する 0
- どちらかといえば評価しない 0
- 全く評価しない 0

コメント

- 普段できないアウトプットができてよかった
- 医学部ではカリキュラムに取り入れられている実習のようで、できるだけ多くの臨床獣医師志望者に受けてほしい内容と感じました
- 自分の大学ではこのような実習はないので、学びの場を作ってくださいありがとうございました
- 獣医師として必要なことはどの大学でも同じだから連携大学は大いに評価する
- 身内過ぎない環境で実習できたことで緊張感を持って臨めてよかった
- 今後の獣医学教育において欠かせない内容を丁寧に教えていただいた
- 1年生で経験できたのは非常に貴重な体験でした、多くの先輩方がいて沢山の話が聞けて学びがおおきかったです

10. オープンスキルラボ実習への要望と意見

- 大動物バージョンを作ってください
- とても良い経験になりました。来年から頑張ろうと思います（6年生）
- ぜひまた参加させてください
- また今回のような実習をやってほしいです
- 2日間この実習に参加できて本当に良かったです